

会 議 録

会議の名称	令和元年度第1回上尾市図書館協議会	
開催日時	令和元年8月5日（月）午後1時30分から午後3時40分まで	
開催場所	上尾市図書館本館2階 集会室	
議長(委員長)氏名	代島常造	
出席者(委員)氏名	須賀聡、北川悦子、岸清俊、佐々木智美、加藤寛子、代島常造、若松昭子、清水松代	
欠席者(委員)氏名	市河利之、藤波貢、城所典子、宮内礼子	
事務局(庶務担当)	池野教育長、小林教育総務部長、西嶋教育総務部次長、島田図書館長、山内主幹、石川副主幹、中島主査、内山主査、重田主任、朝見主事	
会 議 事 項	1 議 題	2 会議結果
	(1) 報告 ①平成30年度上尾市図書館事業報告について ②平成30年度第2次図書館サービス計画の進捗状況について ③令和元年度上尾市図書館事業概要について (2) 議題 ①上尾市図書館の在り方と新たな計画について	別紙「議事の経過」のとおり
議 事 の 経 過	別紙のとおり	傍聴者数 7名
会 議 資 料	図書館要覧（令和元年度） 資料 1-1 平成30年度第2次図書館サービス計画の進捗状況について 資料 1-2 平成30年度第2次あげお子ども読書プランの実施状況について 資料 2-1 令和元年度上尾市図書館事業概要について（図書館） 資料 2-2 令和元年度上尾市図書館事業概要について（支援センター） 資料 3 上尾市図書館の在り方と新たな計画について	
議事のでん末・概要に相違なきことを証するため、ここに署名する。 令和 年 月 日 <p style="text-align: center;">令和元年8月20日署名済み</p> <p style="text-align: center;">議長（委員長）の署名 _____</p>		

議事の経過

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	議事
	(1)報告
事務局	【①平成30年度上尾市図書館事業報告について】 … (説明資料)図書館要覧
A委員	図書館要覧の中にある年代別性別利用登録者数と個人利用者年代別貸出資料数で13歳から29歳までの貸出資料数が少ない要因は借りられていないことによるのでしょうか。または利用登録者数が実態と合っていないためですか。
事務局	利用登録者数は実質の利用者数ではないため、今後は実態の把握に努めたいと考えています。13歳から29歳の貸出資料数については、幼児・小学生に対する読書支援を積極的に行ってはいますが、全国的に読書離れが進んでいる中学生以上の利用者に対し、図書館としてどのような読書支援ができるかが1つの課題と捉えています。
A委員	対応を考える上で、利用実態の把握に努めてほしいと思います。
議長	学習室利用者数のカウントは行っているのでしょうか。
事務局	学習室利用数のカウントは行っていません。利用状況としては、夏休み等になると学習目的の利用者で集会室は常時満員となっています。今後、利用実態の把握については手法を検討したいと思います。
事務局	【②平成30年度第2次図書館サービス計画の進捗状況について】 … (説明資料)資料1-1、1-2
B委員	あっぴーぶっくる本のテーマは誰が決めているのでしょうか。
事務局	子ども読書活動支援センターの職員が中心となって決めています。
B委員	テーマを決める際、子供や保護者の意見を吸い上げて決めているのですか。
事務局	家庭との連携として月に1回、定期的に保護者から相談を受ける機会がある他、学校との連携の中で教員や図書支援員との共通認識を図ることで、本の選定をしています。
C委員	あっぴーぶっくる本を子どもに貸出する学校もあれば、教室内で読んでもらう等、各学校で利用の仕方が異なっていますが、図書館として利用の仕方に対し指示をしているのでしょうか。
事務局	利用の仕方は各学校に一任しています。
D委員	学校主催の読み聞かせボランティア講座への講師派遣は、過去3年間、中央小学校には毎年講師派遣を行っているようですが、他の学校にも行っているのでしょうか。また講師はどのような方を派遣しているのですか。
事務局	各校の学校応援団に対し、講師派遣のお知らせを行っているところですが、平成30年度に依頼があったのは、中央小学校と東小学校の2校でした。他の学校からも問い合わせはあるため今後増えると予想しています。講師は子ども読書支援センターの職員を派遣しています。

議長	ブックトークについて詳しい説明をお願いします。
事務局	あるテーマに沿って数冊の本を順序よく紹介する手法のことです。実施については現在、模索中です。
A委員	郷土に関するデジタル資料の作成・公開とありますが、30年度の実績欄に実施に必要な備品等の予算化を行ったとありますが、具体的にはどのようなことでしょうか。
事務局	デジタル資料の作成を外部に委託することは現状難しいことから、スキャナーを購入し、今年度から独自に図書館内で郷土資料の電子化するための試みを開始したところです。
副委員長	日本分類十進法8版から10版への変更はどのように行ったのでしょうか。
事務局	システム等の連携もあるため新図書館複合施設の開館に合わせて変更する予定でしたが、それを待たずして、蔵書点検期間に職員とカウンター業務を行っている委託業者と連携し変更作業を行いました。
副委員長	大変労力の掛かる作業だと思いますが、どのように変更したのでしょうか。
事務局	業者が提供している8版から10版への移行表を参考に変更作業を行いました。
事務局	【③令和元年度上尾市図書館事業概要について】 … (説明資料)資料2-1、2-2
E委員	ぬいぐるみおとまり会の開催意図はどのようなところにあるのでしょうか。
事務局	アメリカで広く実施されている事業であり、子供たちの想像力を掻き立て、本への興味を持たせることを目的としています。
B委員	ぬいぐるみおとまり会のアメリカでの事業報告はあるのですか。
C委員	ぬいぐるみおとまり会は、ぬいぐるみや動物が夜、図書館内を動き回るという絵本がアメリカで出版されており、実際にやってみようと広まっていった経緯があると聞いたことがあります。
事務局	想像力を掻き立てる、本と子供達とを結びつける手段として実施したいと考えています。アメリカや他の図書館事例における事業報告については、今回の協議会結果がまとめ次第紹介したいと思います。
事務局	(2)議題 【①上尾市図書館の在り方と新たな計画について】 … (説明資料)資料3
B委員	現状の図書館のサービスを尊重するだけでなく、充実を図るという視点が重要に思います。図書館が提供する情報が地域社会にどのように役立っているのか使われているのかを再確認し棲み分けしていくのが大切です。事務局として市民アンケート結果をこれからの図書館づくりに活かすための具体的な目標などがありますか。
事務局	近年、市民ニーズが多様化し、本来の図書館の業務以外に学習スペースの設置、居心地の良い空間づくり等が求められており、図書館の在り方が大きく変わって

	<p>きていると感じています。今回は初めて普段利用されていない市民も含めたアンケートを行うことにより、利用されない理由を把握し、またアンケートから見える要望等をこれからの世代を担う子供たちのために今後の計画に取り込み、実行していきたいと考えています。</p>
C委員	<p>現図書館本館は広さや機能の面から限界であり、機能を維持するためには大規模な改修が必要ではないかと思えます。今後在り方を考える上で、本館機能は現在のままと考えてよいのでしょうか。</p>
事務局	<p>新図書館複合施設の計画は見直しとなり、本館機能は当面の間、現状のままという方向性を出されております。現在、上平の新図書館の計画があった用地は図書館機能を含む新たな複合施設建設の計画を進めており、建設まで間、市民が利用できる多目的広場として整備する予定です。今後、市民アンケート等で市民の意見を取り入れ、また協議会委員の皆さまから意見をいただき、サービス面を中心に図書館の在り方の検討をしていきたいと考えています。</p>
B委員	<p>新図書館の建設を計画する中で、良いアイデアや企画、また望ましい設備等があったと思いますが、それらを今後本館や分館等に取り入れることも考えているのでしょうか。</p>
事務局	<p>考え方を取り入れるのは可能です。ただし、本館、各分館・公民館図書室は限られたスペースのため、どこまで新たなサービスができるのか検討が必要です。</p>
F委員	<p>今日の事務局の説明で様々な取り組みを図書館がしてきたこと、これからの計画のことが分かりました。今まで以上に周知を丁寧に行って、市民に知ってもらう必要があると思います。</p>
D委員	<p>第3回図書館協議会にある先進地視察は協議会委員ではなく、貸出冊数が少ない13～29歳の若い利用者に視察してもらった方がいいのではないかと思います。</p>
A委員	<p>市民アンケートの回答率が現在約30%程度との説明がありましたが、少ないようにも感じます。統計学的には問題はないのでしょうか。</p>
事務局	<p>一般的に統計上、20万人程度の人口に対し、400程度の回答がある場合、再現率は95%といわれています。現在、900程度の回答があるため、複数回同じ調査を行っても同様の結果になるだけのサンプル数を確保しています。</p>
議長	<p>意見はある程度出たと思いますが、議事に関わらず何かあればお願いします。</p>
各委員	<p>特になし。</p>
議長	<p>それでは議事を終了します。</p>
	<p>以上</p>